

「鳥海ダム建設事業マネジメント委員会」を開催

～2月7日（木） 鳥海ダム工事事務所～

鳥海ダム工事事務所では、ダム建設事業全般における実施状況・進捗状況等について、学識者や専門家などからの意見を求め、事業費監理や工程監理の一層の充実を図ることを目的として、「鳥海ダム建設事業マネジメント委員会」を設立し、第1回委員会を下記のとおり開催します。

記

- 開催日時 : 平成31年2月7日（木）14:00～15:45（予定）
- 会場 : 秋田県由利本荘市水林408番地 鳥海ダム工事事務所 会議室
- 議事次第 : 別紙のとおり

■ 報道取材及び傍聴について

- ・ 鳥海ダム工事事務所正面玄関付近にて13:30～受付を行います。
会場の都合上、席数に限りがあるため、先着順とさせていただきます。
- ・ 委員会の取材及び傍聴については、別添 議事次第「7. 委員長挨拶」までとさせていただきます。
なお、委員会終了後に議事内容について説明させていただきます。
- ・ 取材中は社名腕章等の着用をお願い致します。

添付資料 : 議事次第、設立趣意書、委員名簿、会場位置図

< 発表記者會 >

秋田県政記者会、秋田魁新報社本荘支局、読売新聞東京本社由利本荘通信部

問い合わせ先



国土交通省

東北地方整備局 鳥海ダム工事事務所

住所：秋田県由利本荘市水林408

電話：0184(23)5120（代表） FAX：0184(23)5451

副 所 長（技術）

こ じま みつ ひろ
小 嶋 光 博 （内線204）

工務課長

ぬま くら きみ ひこ
沼 倉 公 彦 （内線311）

鳥海ダム建設事業マネジメント委員会

日時 : 平成31年2月7日(木)
14:00~15:45

会場 : 鳥海ダム工事事務所
会議室

議 事 次 第

1. 開 会
2. 鳥海ダム工事事務所長 挨拶
3. 鳥海ダム建設事業概要
4. 設立趣意説明
5. 委員紹介
6. 委員長選出
7. 委員長挨拶
8. 議 事
 - (1) 規約(案)及び運営要領(案)
 - (2) 事業進捗及び平成30年度の事業実施状況
9. 閉 会

鳥海ダム建設事業マネジメント委員会

設立趣意書

子吉川は、秋田県南部の日本海側に位置し、その源を鳥海山に発し日本海に注ぐ幹川流路延長 61km、流域面積 1,190km² の一級河川です。

子吉川の河川整備は「河川整備基本方針」「河川整備計画」に基づき、河川の特徴や問題点を踏まえつつ、流域に住む人々の生命と財産を守るため河川管理施設等の整備を行うとともに、維持管理や良好な河川環境の保全を目的として実施しています。

鳥海ダム建設事業は、この河川整備基本方針と河川整備計画に基づき実施するもので、平成 5 年 4 月に実施計画調査着手（調査事務所を開設）、平成 25 年度にダム検証を終え、平成 27 年 4 月に建設段階に移行（工事事務所を設置）しています。

鳥海ダムは洪水調節と、流水の正常な機能の維持、水道用水の供給、発電を目的とした、由利本荘市鳥海町百宅地内に建設される多目的ダムです。

ダム建設事業は、調査計画段階から用地取得、ダム本体施工を経て管理段階に至ることから、多くの工程と多額の事業費を必要とするプロジェクトです。さらに、調査着手から完成まで長い期間を要することから、その間の事業進捗や社会情勢の変化により、事業内容の変更等の事例が見受けられるところです。また、公共事業については、一層のコスト縮減、工期遵守に取り組んでいくことが求められています。

このため、鳥海ダム建設事業全般における実施状況、進捗状況等について定期的に確認を行い、事業費や工程等の監理の充実を図るため、本委員会を設立するものです。

第1回 鳥海ダム建設事業マネジメント委員会 委員名簿

区 分		氏 名	所 属 ・ 役 職 名
学識者	治水	松富 英夫	秋田大学 大学院理工学研究科 教授 附属地域防災力研究センター長
	経済	沼倉 雅枝	沼倉雅枝公認会計士・税理士事務所 所長
ダム専門家		箱石 憲昭	国立研究開発法人土木研究所 水工研究グループ長
利水者	上水道	三浦 守	由利本荘市 ガス水道局長
	発電	桜庭 規祥	秋田県産業労働部 公営企業課長
秋田県		小野 久喜	秋田県建設部 河川砂防課長

敬称略、順不同

会場位置図

鳥海ダム工事事務所へのアクセス

住所：秋田県由利本荘市水林 408 番地
電話： 0184-23-5120 (代表)

